

見てわかる 令和7年度 加賀市当初予算のあらまし

目次

はじめに

- | | |
|------------------------|-------|
| 1. 予算ってなに？ | ・・・1 |
| 2. 令和7年度の予算額はいくら？ | ・・・2 |
| 3. 令和7年度の一般会計の予算額の内訳は？ | ・・・4 |
| 4. 借金残高はいくら？ | ・・・8 |
| 5. 貯金残高はいくら？ | ・・・9 |
| 6. 市民1人あたりではいくら？ | ・・・10 |
| 7. 「家計簿」に例えると？ | ・・・11 |

は じ め に

加賀市では、市政についてより関心を持っていただくことを目的として、市の予算や借金、貯金をグラフや家計簿などで表した「見てわかる加賀市当初予算のあらまし」を作成しています。

この冊子を通して、市の予算や事業についてご理解をいただければ幸いです。

令和7年4月

1. 予算ってなに？

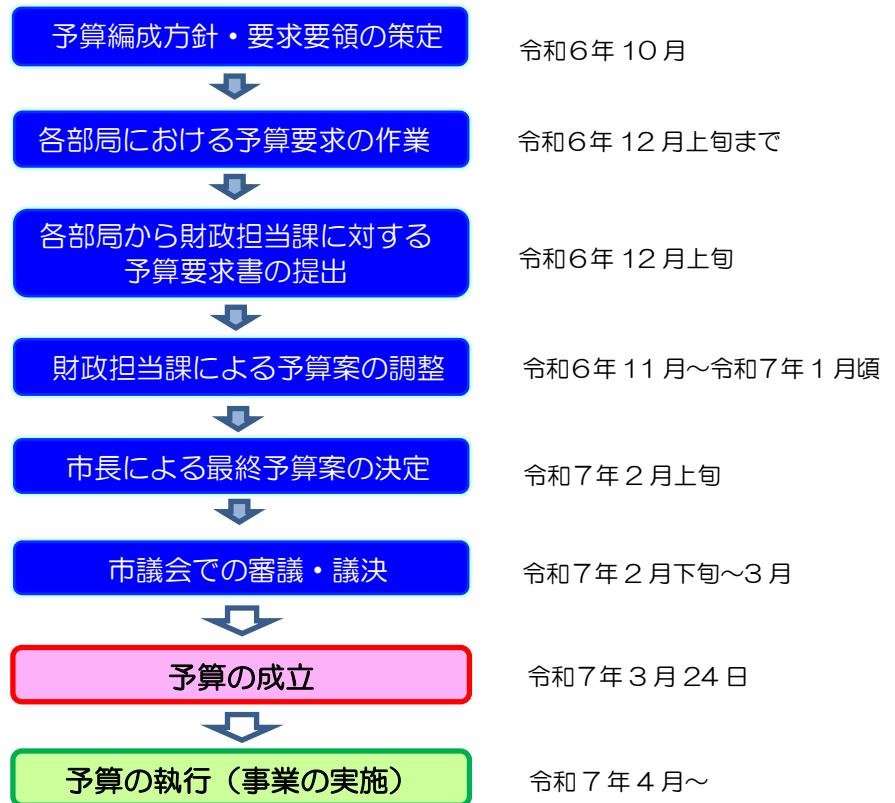
◇予算とは？

加賀市に1年間（4月から翌年3月まで）に入ってくる収入を見積もり、その使い道を決めるのが予算です。予算を見れば、1年間にどのような収入を見込み、何に使おうとしているかが分かります。

◇予算はどのように決まるの？

予算は次のように、市長が予算案を作り、市議会での審議・議決を経て決まります。

（加賀市の令和7年度当初予算の場合）



◇どのような予算があるの？

予算は、どの収入がどこに使われているのか、収入と支出の関係をはっきりさせるために3つの種類（一般会計、特別会計、企業会計）に区分しています。

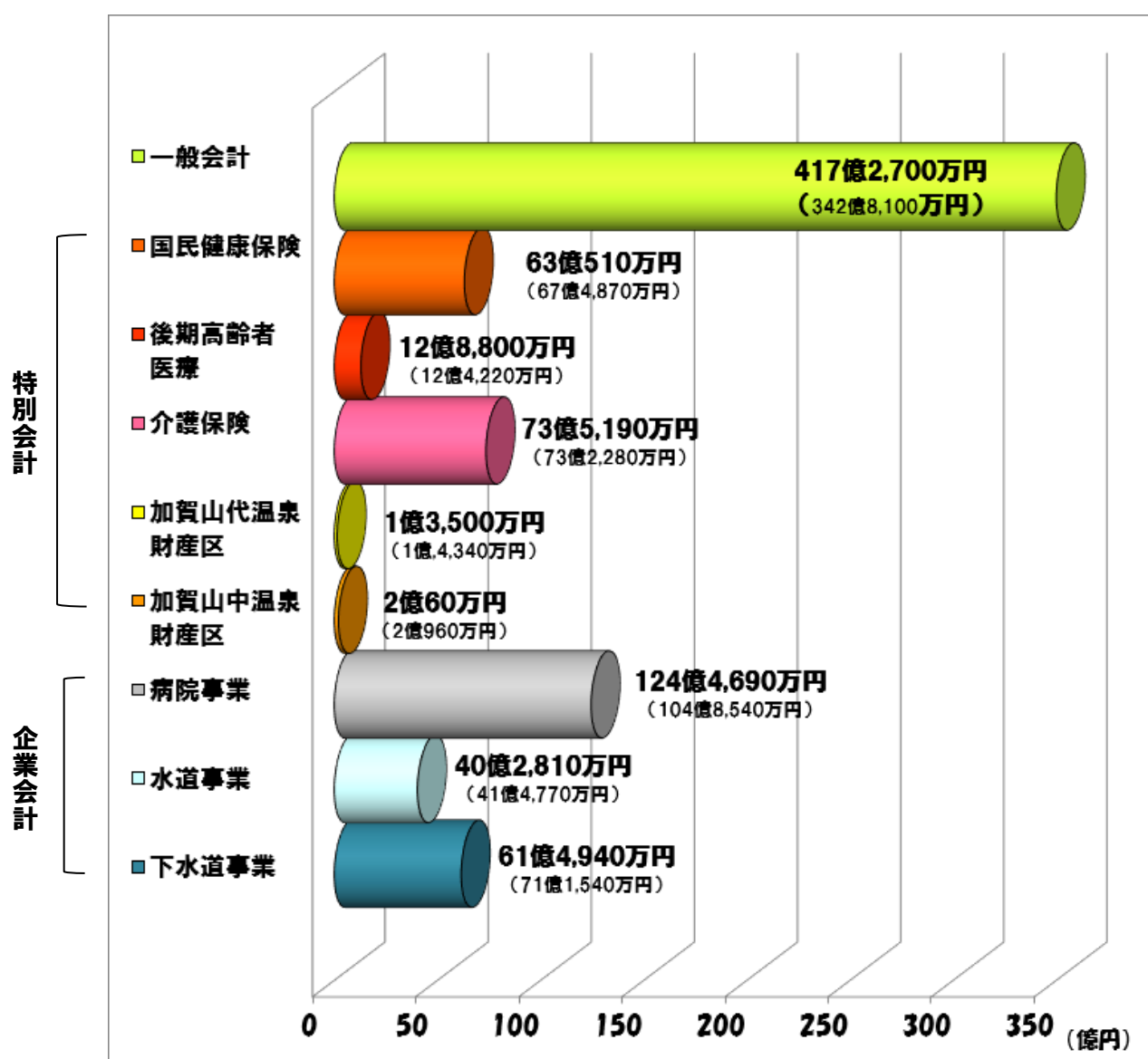
- 一般会計**・・・福祉、教育、環境衛生、道路整備など基本的な行政サービスを行う会計です。
- 特別会計**・・・保険料や使用料など特定の収入によって、特定の事業を行う場合などに設ける会計です。加賀市には現在、次ページに記載した5つの特別会計があります。
- 企業会計**・・・民間企業と同じように事業収益で賄われることを基本とする会計です。加賀市には現在、病院事業、水道事業、下水道事業の3つの企業会計があります。

2. 令和7年度の予算額はいくら？

令和7年度は、「人材育成・教育」と「産業集積」の2本柱による「未来への夢と希望の成長戦略」を最重要事業として位置づけ、積極的な事業展開を図る編成を行いました。

○ 全 会 計	796 億 3,200 万円	(令和6年度 716 億 9,620 万円 伸率+11.1%)
○ 一般会計	417 億 2,700 万円	(令和6年度 342 億 8,100 万円 伸率+21.7%)
○ 特別会計	152 億 8,060 万円	(令和6年度 156 億 6,670 万円 伸率△2.5%)
○ 企業会計	226 億 2,440 万円	(令和6年度 217 億 4,850 万円 伸率+4.0%)

※ () 内数値は令和6年度当初予算額です。



◇ 令和 6 年度と比較すると予算はどう変わったの？

市の予算額は事業の開始や終了などにより、年度ごとに増減します。

令和 7 年度と令和 6 年度の予算額を比較して、一般会計と大きな変化があった会計について見ていきます。

一般会計

令和 7 年度は、整備の最終年度となる加賀温泉駅周辺施設整備事業や屋外プール整備事業等の大型事業の実施により普通建設事業が大きく増加し、前年度当初予算比では、74 億 4,600 万円の増加です。

国民健康保険特別会計

前年度当初予算比で国民健康保険の被保険者数の減少が見込まれることによる保険給付費の減少等により、4 億 4,360 万円の減少です。

病院事業会計

借換に伴う繰上償還額の増加による企業債償還金や医療の質・機能の向上を図るため、医師等スタッフの増員による給与費の増加等により、19 億 6,150 万円の増加です。

水道事業会計

老朽化した水道管の更新にかかる費用と加賀市水道事業ビジョン更新策定業務の完了に伴う事業費の皆減により 1 億 1,960 万円の減少です。

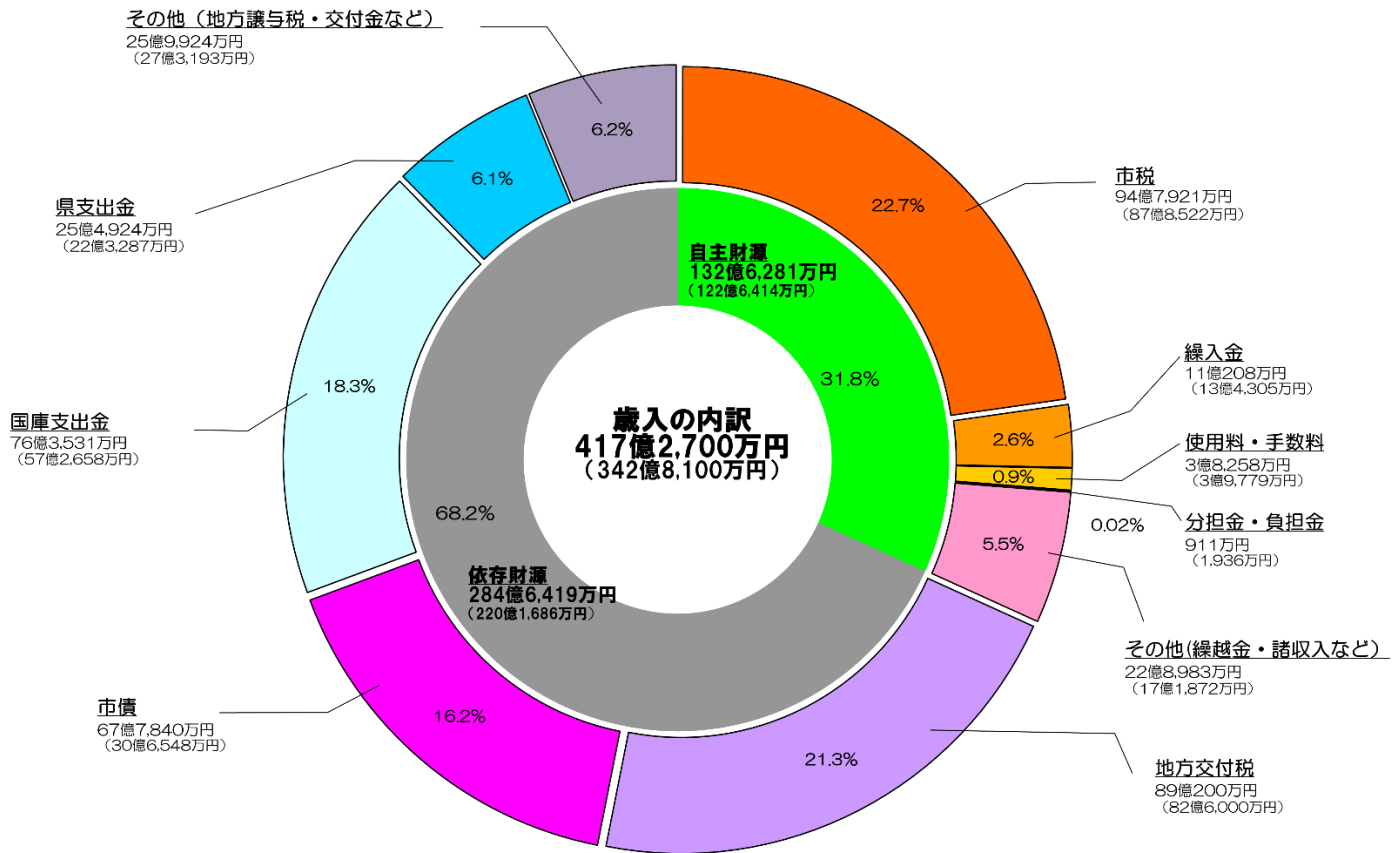
下水道事業会計

片山津処理区と大聖寺処理区の老朽管渠更新に伴う舗装工事費の減少等により、9 億 6,600 万円の減少です。

3. 令和 7 年度の一般会計の予算額の内訳は？

(1) 歳入

◎ 歳入を種類別に区分し、更に自主財源と依存財源に分けて見ると次のようになります。



※ () 内数値は令和 6 年度当初予算額です。

※ 一円未満を四捨五入しているため合計が合わない場合があります。

自主財源 132 億 6,281 万円 (構成比率 31.8%) (令和 6 年度比較伸率 +8.1%)

市が自主的に収入できる財源のことで、市税や負担金、使用料、繰越金などです。この割合が高いほど財政が安定し、自律的な財政運営ができることになります。

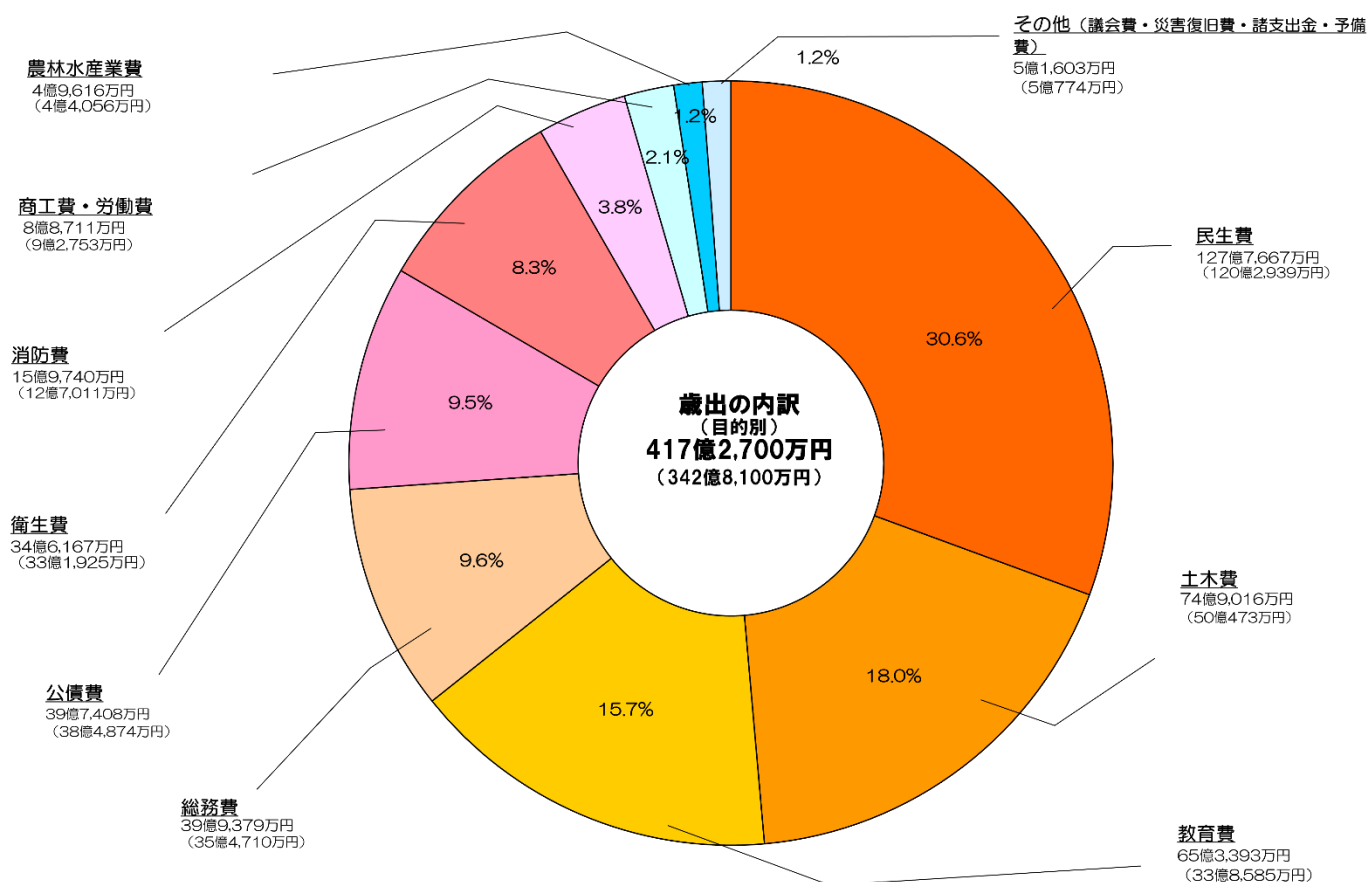
令和 6 年度と比較すると、約 10 億円の増加です。

依存財源 284 億 6,419 万円 (構成比率 68.2%) (令和 6 年度比較伸率 +29.3%)

国や県等から交付される財源のことで、国・県支出金、地方交付税、市債などです。

令和 6 年度と比較すると、約 64 億 5 千万円の増加です。

(2) 歳出(目的別予算)



◎ 歳出を行政目的別に区分すると次のようになります。

※ () 内数値は令和6年度当初予算額です。

※ 一万円未満を四捨五入しているため合計が合わない場合があります。

○ 目的別予算のうち主なもの

民生費 127 億 7,667 万円(構成比率 30.6%) (令和6年度比較伸率 +6.2%)

民生費とは、高齢者、障がい者、児童、生活保護などの福祉に要する経費です。

令和6年度と比較すると、私立保育園施設整備助成費の減少等がありますが、児童手当給付費、放課後児童クラブ助成費の増加等により、全体では約7億5千万円の増加です。

土木費 74 億 9,016 万円(構成比率 18.0%) (令和6年度比較伸率 49.7%)

土木費とは、都市計画の策定、道路、河川、公園の整備や維持管理などに要する経費です。

令和6年度と比較すると、加賀温泉駅周辺施設整備費、空家等対策費、柴山湯周辺整備費の増加等により、全体では約24億9千万円の増加です。

教育費 65 億 3,393 万円（構成比率 15.7%）（令和 6 年度比較伸率 +93.0%）

教育費とは、学校教育、生涯学習、スポーツ振興、文化振興などに要する経費です。

令和 6 年度と比較すると、屋内プール整備事業費、武道館整備費の増加等により、全体で約 31 億 5 千万円の増加です。

総務費 39 億 9,379 万円（構成比率 9.6%）（令和 6 年度比較伸率 +12.6%）

総務費とは、まちづくりの推進、公共交通、電算システムの運用などに要する経費です。

令和 6 年度と比較すると、令和 6 年能登半島地震復興支援補助金、選挙費（参議院議員選挙、県知事選挙、市長市議会議員選挙）、統計調査費（国勢調査）の増加等もあり、全体では約 4 億 5 千万円の増加です。

公債費 39 億 7,408 万円（構成比率 9.5%）（令和 6 年度比較伸率 +3.3%）

公債費とは、市の借入金の返済に要する経費です。

令和 6 年度と比較すると、環境美化センターの整備に係る返済額の増加等により全体では約 1 億 3 千万円の増加です。

衛生費 34 億 6,167 万円（構成比率 8.3%）（令和 6 年度比較伸率 +4.3%）

衛生費とは、健康診断や予防接種、ごみ処理、病院事業会計への繰出しなどに要する経費です。

令和 6 年度と比較すると、災害等廃棄物処理事業費の減少等がありますが、予防対策事務費の増加等により、約 1 億 4 千万円の増加です。

消防費 15 億 9,740 万円（構成比率 3.8%）（令和 6 年度比較伸率 +25.8%）

消防費とは、消防や防災対策に要する経費です。

令和 6 年度と比較すると、消防車両整備費の減少等がありますが、消防指令システム整備事業や被災宅地等復旧支援事業費の増加等により、全体では約 3 億 3 千万円の増加です。

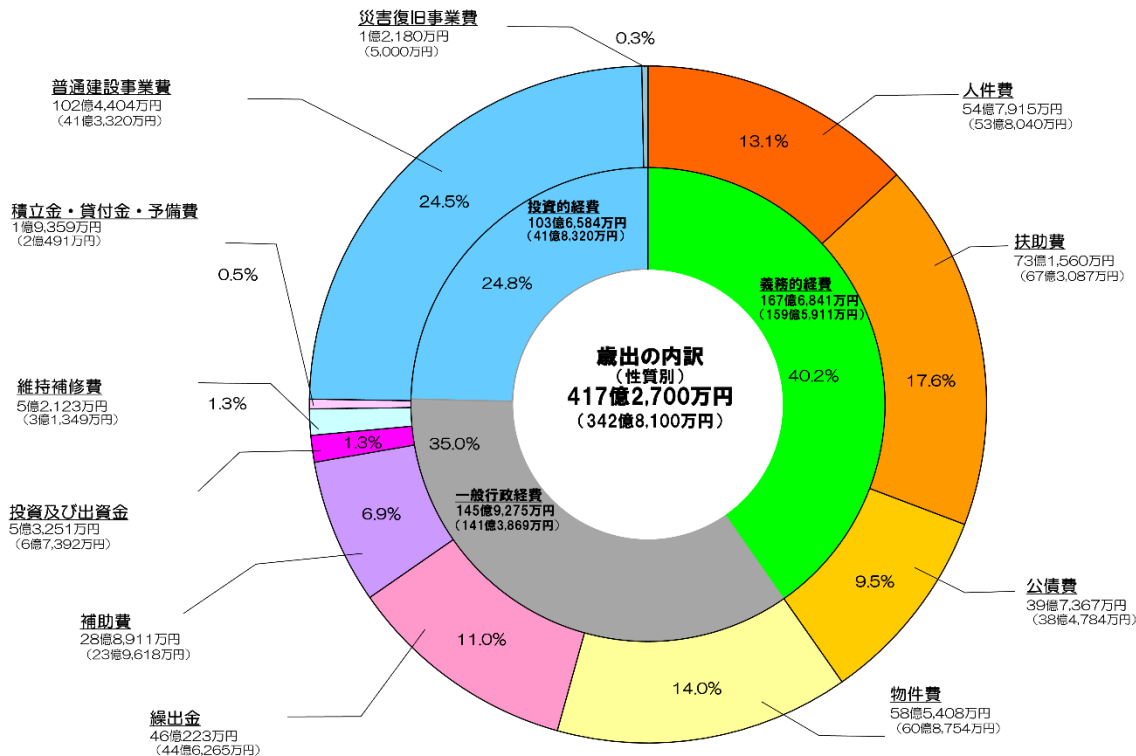
商工費・労働費 8 億 8,711 万円（構成比率 2.1%）（令和 6 年度比較伸率 △4.4%）

商工費・労働費とは、商工業や観光振興、労働福祉に要する経費です。

令和 6 年度と比較すると、観光施設整備費、企業誘致推進費の増加等がありますが、産業デジタル化推進費の減少等により、全体では約 4 千万円の減少です。

(3) 歳出（性質別予算）

◎ 歳出を経済的な機能や性質から見た性質別経費として区分し、更に義務的経費、一般行政経費、投資的経費に分けて見ると次のようになります。



※ () 内数値は令和 6 年度当初予算額です。

※ 一千万円未満を四捨五入しているため合計が合わない場合があります。

義務的経費 167 億 6,841 万円（構成比率 40.2%）（令和 6 年度比較伸率 +5.1%）

義務的経費とは、法令の規定や経費の性質上、支出が義務づけられている経費であり、任意に削減できないものです。具体的には、児童・高齢者・生活保護者などの生活支援にかかる扶助費、市職員給与などの人件費、市の借金を返済するための公債費のことで、この割合が低いほど建設事業やほかの様々なサービスに多くお金を使えることになります。

令和 6 年度と比較すると、全体では約 8 億 1 千万円の増加です。

一般行政経費 145 億 9,275 万円（構成比率 35.0%）（令和 6 年度比較伸率 +3.2%）

一般行政経費とは、施設の管理費などの物件費、各種団体への負担金・補助金などの補助費等、施設の維持補修費や、特別会計への繰出金等のことです。

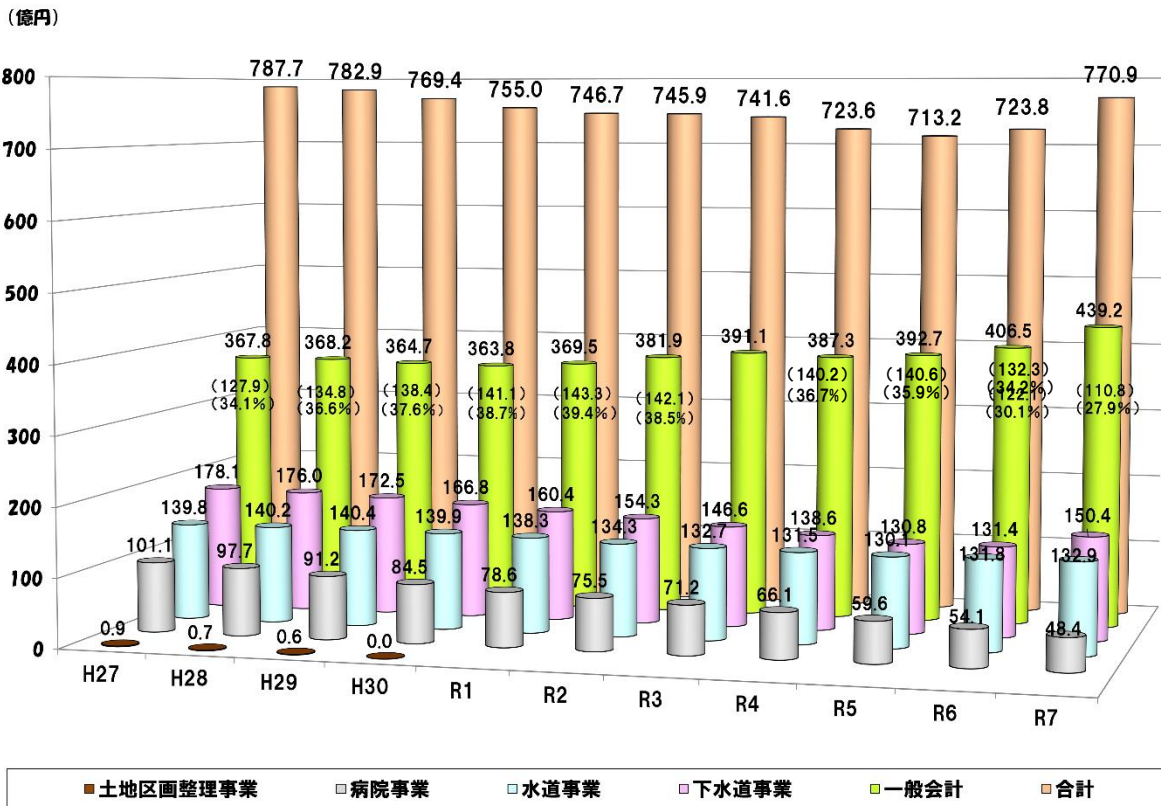
令和 6 年度と比較すると、全体では約 4 億 5 千万円の増加です。

投資的経費 103 億 6,584 万円（構成比率 24.8%）（令和 6 年度比較伸率 +147.8%）

投資的経費とは、その支出が社会資本形成に向けられるものです。具体的には、道路や公共施設の整備等の普通建設事業のほか、災害復旧事業に充てられる費用のことを指します。

令和 6 年度と比較すると、大型事業である加賀温泉駅周辺施設整備事業の事業費が前年比で増加したことや、屋外プール整備事業の実施により約 61 億 8 千万円の増加です。

4. 借金残高はいくら？



※ R5 までは決算、R6・R7 は予算に基づく見込みです。

※ () 内数値は臨時財政対策債の残高及び一般会計残高に占める割合です。

※ 土地区画整理事業特別会計は平成 30 年度末で廃止しました。

市の借金は、市債といいます。

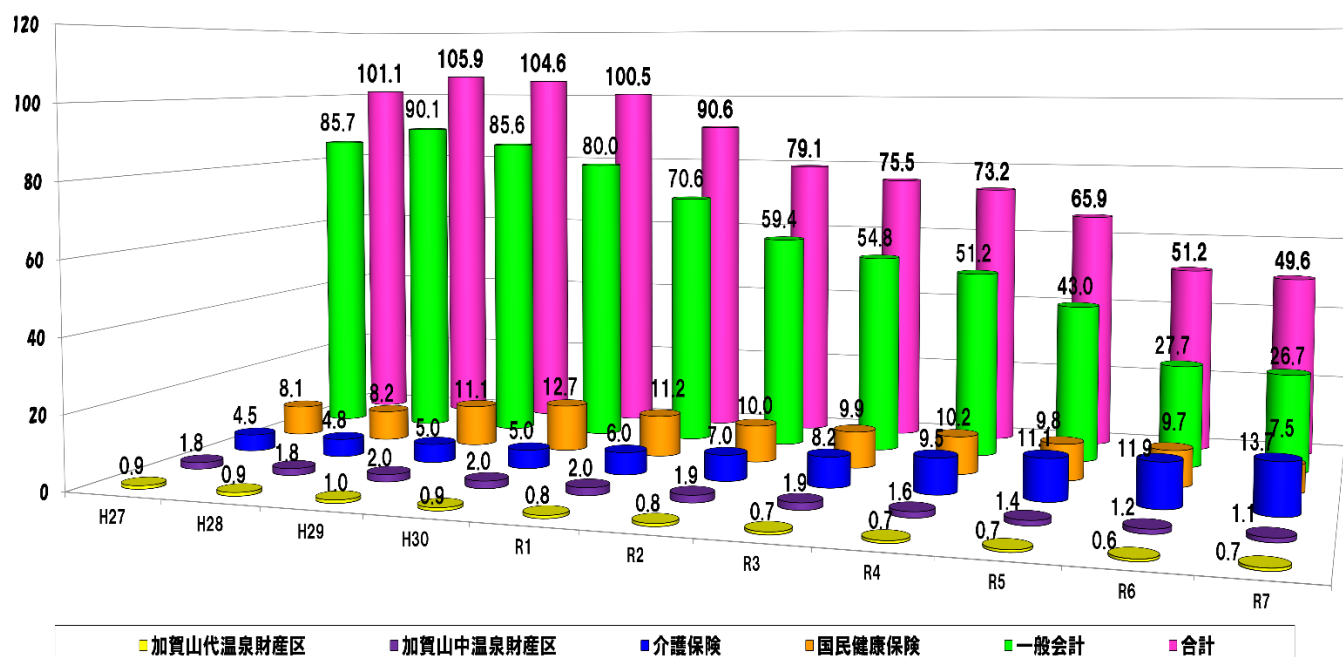
加賀市では、一般会計、病院事業会計、水道事業会計、下水道事業会計の計 4 つの会計で市債を発行しています。

市債残高の推移を見ると、平成 28 年度から令和 5 年度までは一般会計の残高は増加していますが、病院・水道・下水道事業会計において市債償還が進んだため、全会計の合計残高は減少しています。令和 6 年度は、一般会計において加賀温泉駅周辺施設整備事業や道路照明灯 LED 化事業等に伴う市債の発行があり、全会計の合計残高は増加しています。

令和 7 年度の一般会計においても、加賀温泉駅周辺施設整備事業や加賀市屋内プール整備事業、加賀市武道館整備事業等の大規模事業の実施に伴う市債の発行があるため、令和 6 年度に引き続き市債残高は増加する見込みです。

また、病院事業会計では、加賀市医療センター建設事業等の市債償還が進むことにより残高は減少する見込みとなっており、下水道事業会計では下水道処理施設の統合事業による市債の発行により残高は増加する見込みです。

5. 貯金残高はいくら？



※ R5までは決算、R6・R7は予算に基づく見込みです。

市の貯金は、基金といいます。

加賀市では、一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、加賀山代温泉財産区特別会計、加賀山中温泉財産区特別会計の計5つの会計で基金を積立しています。

全会計を合計した基金残高は、平成17年度の合併以降、平成28年度までは増加傾向にありましたが、平成29年度以降、一般会計において災害対応及び年度間の財源調整として財政調整基金の取崩しやまちづくり振興基金の取崩しを行ったことなどにより基金残高は減少しています。

令和7年度は、「未来への夢と希望の成長戦略」と銘打った子育て支援や教育事業、人材育成事業の予算措置などに伴う一般会計の収支不足に対する財政調整基金の取崩しや、加賀温泉駅周辺施設整備事業等へ活用するための重点事業推進基金の取崩しを行います。また、各年度財政負担の平準化のため、まちづくり振興基金、減債基金などの取崩しを行うこととしています。

6. 市民1人あたりではいくら？

○一般会計の予算を市民1人あたりに換算すると、約67万円になります。

予算の使いみち	令和7年度予算		市民1人あたりの予算（※2）
民生費 （高齢者、障がい者、児童、生活保護のために） 	127億7,667万円	30.6%	20万7,124円 (19万2,387円)
公債費 （市の借入金の返済のために） 	39億7,408万円	15.7%	6万4,424円 (6万1,553円)
衛生費 （健康診断や予防接種、ごみ処理等のために） 	34億6,167万円	8.3%	5万6,118円 (5万3,085円)
土木費 （都市計画の策定、道路、河川、公園等の整備のために） 	74億9,016万円	18.0%	12万1,424円 (8万411円)
総務費 （まちづくりの推進、公共交通、電算システム等のために） 	39億9,376万円	9.7%	6万4,744円 (5万6,729円)
教育費 （学校教育、生涯学習、スポーツ振興、文化振興等のために） 	65億3,393万円	9.5%	10万5,922円 (5万4,150円)
消防費 （消防、防災対策のために） 	15億9,740万円	3.8%	2万5,896円 (2万313円)
商工費・労働費 （商工業、観光振興、労働福祉のために） 	8億8,711万円	2.1%	1万4,381円 (1万4,834円)
農林水産業費 （農業、林業、水産業振興のために） 	4億9,616万円	1.2%	8,043円 (7,046円)
その他の行政費 （議会運営や基金積立等のために） 	5億1,603万円	1.1%	8,366円 (8,121円)
合計（※1）	417億2,700万円	100%	67万6,442円 (54万8,259円)

○ 市民1人あたりの借金残高、貯金残高は次のとおりです。

区分	令和7年度末残高見込み		市民1人あたりの残高（※2）
全会計の借金残高	770億9,196万円		124万9,748円
うち一般会計の借金残高	439億1,741万円		71万1,951円
うち臨時財政対策債（※3）の残高	98億7,983万円		16万163円
全会計の基金残高	49億6,353万円		8万464円
うち一般会計の基金残高	26億6,777万円		4万3,248円

※1 一万円未満を四捨五入しているため合計が合わない場合があります。

※2 令和7年度予算、令和7年度末残高を、令和7年1月1日の住民基本台帳に基づく人口（61,686人）で割って算出しています。（）は令和6年度の数値です。

※3 臨時財政対策債は後年度の返済額の全額が、国から交付税措置されます。

7. 「家計簿」に例えると？

○ 一般会計の予算（417億2,700万円）を年収524万円（1月あたり43万6,667円）の家計に置き換えています。

※厚生労働省実施の「2023年国民生活基礎調査」による全国の世帯平均所得が524万2,000円であることから
端数を整理して、524万円の家計に置き換えています。



【加賀家 1ヵ月の家計簿】

《 収 入 》		《 支 出 》	
給与 (市税)	9万9,198円 (11万6,603円)	食費 (人件費)	5万7,338円 (7万1,412円)
諸手当 (地方交付税、国県補助金等)	22万6,939円 (25万1,535円)	家族の医療費・教育費 (扶助費)	7万6,557円 (8万9,337円)
パート収入 (使用料・手数料等)	2万8,062円 (2万8,349円)	ローンの返済 (公債費)	4万1,584円 (5万1,071円)
貯金の取崩し (繰入金)	1万1,533円 (1万7,826円)	子どもへの仕送り (繰出金、投資・出資金)	5万3,734円 (6万8,176円)
銀行からの借入 (市債)	7万935円 (4万687円)	光熱水費や通信費など (物件費、補助費等)	9万1,496円 (11万2,602円)
		家・車・電化製品の修理、買い換え (維持補修費、普通建設事業費)	11万3,931円 (5万9,683円)
		親戚へ貸すお金 (貸付金)	1,095円 (1,412円)
		貯金 (積立金、予備費)	931円 (1,308円)
計	43万6,667円 (45万5,000円)	計	43万6,667円 (45万5,000円)

() 内は令和6年度の数値です。

○一般会計予算を年収524万円の家計に置き換えた場合の令和6年度末の借金残高、貯金残高（見込み）

全会計の借金残高	968万1,067円	全会計の貯金残高	62万3,310円
うち一般会計の借金残高	551万5,068円	うち一般会計の貯金残高	33万5,014円
うち臨時財政対策債(※)の残高	124万692円		

※ 臨時財政対策債は後年度の返済額の全額が、国から交付税措置されます。

見てわかる
令和 7 年度
加賀市当初予算のあらまし

作成：令和 7 年 4 月

編集：加賀市総務部財政課財政グループ

（〒922-8622 石川県加賀市大聖寺南町二 41 番地）

TEL：0761-72-7805

E-mail：zaiseikakari@city.kaga.lg.jp

HP: <http://www.city.kaga.ishikawa.jp/>